



議会の役割と任務

議員定数と報酬はどうあるべきか？

2月20日と3月24日の全員協議会において、議員定数と議員報酬についての意見交換会を開催しました。

2月20日の全員協議会では、全国の類似団体と比較した状況や、議会機能の向上といった視点から資料が提示され、議長から高梁市では今議会では見直しを行なわないう旨の説明がありました。

3月24日の全員協議会では、17人の議員がそれぞれの立場や考えから意見を述べました。

議員定数についての主な意見として、高梁市は市域が広く、議員は地域代表としての使命も背負っている。常任委員会構成は3委員会6人が必要で、定数18議席を下回るのは運営上厳しい。議会の多様性の確保のためにも18議席は必要であるといったものがありました。

反対に、市民感情からして減らすべき。人口減に合わせて削減していくことも必要である、という意見もありました。

議員報酬についての主だった意見として、子育て世代の議員は現在の報酬では活動は難しい。報酬は15年間据え置きのままであり、後継者不足の解消のためにも引き上げが必要である。議員報酬は給料ではなく、必要経費も多くかかるといった意見が出された。

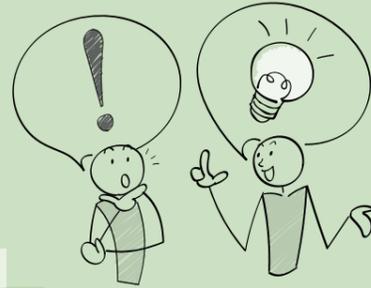
反対に市民感情に配慮して報酬は引き上げるべきではない。また議員報酬については第三者委員会にゆだねるべきといった意見も出されました。

あわせて、報酬以外の収入や年齢を勘案した報酬制度、子育て手当や介護手当の創設も必要ではないか。また、休日・夜間議会を行い議員と仕事が兼務できるように、といった意見も出されました。

他にもあらゆる機会を通じて議会や議員の活動をもっと市民へ伝えることが必要といった意見、議員定数や報酬の削減は経費削減につながらないという意見、また改選まで6カ月と短期間の改正は議会基本条例にてらして十分な議論を行うことができないという指摘もありました。

議員定数を考える際には、行政監視、民意吸収、政策立案という議会の役割を果たすためという視点が重要であり、議員報酬は、議員活動の量や経済状況等も勘案しながら定めることが必要です。定員維持や報酬の増額をするには、その根拠について市民への説明責任を求められる、といった意見も出されました。

	高梁市	全国	5万人未満	類似団体
市議会の数	—	815	273	127
議員定数(人)	18	23.3	17.1	17.57
議長報酬(円)	425,000	517,000	412,900	406,400
副議長報酬(円)	357,000	457,000	356,900	350,400
議員報酬(円)	342,000	422,000	331,500	325,100



一般質問

一般質問とは、議員個人が市政のさまざまな問題について、執行部に質問したり、市政について提案を行う場です。どんな質問をするのかという趣旨を事前に伝える「通告制」を取っており、質問への答弁は一問一答方式で行われます。今回は11人の議員が質問しました。

市政に対する市長の考えを問う

9月が改選だがどう考えているのか

答弁：

引き続き高梁丸のかじ取りをさせていただきたいと考えている



倉野 嗣雄 議員

ここをききました

・市政に対する市長の考えを問う

倉野 令和2年9月が改選だが、どのように考えているのか。

市長 災害からの復旧・復興、新しいまちづくりに向け、引き続き挑戦させて頂きたい。

倉野 地方自治はそこに住む人のためにある。職員は全体の奉仕者ということを基本に市政運営されることを期待する。

倉野 職員の意識改革を市長は常に言っているが、進んでいるのか。

市長 担当職務は当然で、他に広い視野を持って職務を遂行する必要があると感じる。

倉野 最近議案の訂正が多いが、市長はどう感じているのか。

市長 課内の意思疎通が大事と考える。その上でお互いにチェックし責任を持つことを進めていく。